みやぎのだより No.105

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成30年7月27日

第 69 回通常総会

CONTENTS

第69回通常総会開催 …… 1
平成30年度 生乳生産実績 …… 2
平成30年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ‥ 2
輸入粗飼料情勢 …… 3
牛群検定～活用事例紹介～ …… 4
北海道 乳牛産地情報・全酪連 …… 5
牛乳の日PRキャンペーン …… 5
食楽まつり2018 …… 6
牛乳乳製品利用料理コンクール募集のお知らせ‥ 6
酪農技術シリーズ⑫ …… 7
理事会通信 …… 9
第16回乳用牛ベビーショウ開催のお知らせ …… 9
業務報告 …… 10
編集後記 …… 11

第69回通常総会開催

総務課

平成30年６月27日、大和町吉岡「まほろばホール」において、第69回通常総会を開催しました。午前10時30分、伊藤組合長の開会宣言のあと、平成29年度良質乳出荷者及び購買品高位利用者の表彰式が行われ、良質乳出荷者41名の代表として、志津川支部佐藤孝司様、購買品高位利用者38名の代表として大崎支部八巻誠一様、に対し表彰状及び副賞を贈呈し、その功績を讃えました。また、特別表彰として平成13年婦人部発足から16年にわたり本部の婦人部長を努め組合事業の発展に貢献された甲田和子様に対し、表彰状及び記念品を贈呈しその功績を讃えました。

続いて伊藤組合長から、「日欧通商協定EPAの妥結やTPP交渉の大筋合意など貿易自由化が進むなか、酪農乳業界での指定団体改革議論は、農業競争力強化プログラムの策定をへて補給金制度の不足払法が廃止され、恒久法として畜安法に位置付けられ、この新制度のもと酪農経営安定のためには指定団体から離脱せず、共販体制を維持強化し広域的な生乳供給が重要です。宮城県酪農団体合理化検討会でのCSの再編整理については、当組合の仙北CSと仙南CSを活用する事に決まり、今後は実施に向けた様々な課題に取り組んでいきます。この様な状況の中、当組合は生産基盤の強化と酪農経営の安定を目指した事業運営に努め、主要事業実績と経営成績は計画を超える成績を収める事ができ、深甚なる敬意と感謝の意を表します。30年度は酪農政策や組織を巡る議論など大きな変革の年となる事が予想されますが、組合本来の理念に立ち返り、協同の精神で酪農の持続的発展に貢献出来る組織となり、組合員の共存・共益、経営の向上へ向けた良質で高度なサービス提供ができるよう役職員一丸となり酪農振興に向け邁進していく」と開会のあいさつを述べました。

そのあと来賓の祝辞として、宮城県農林水産部武藤部長（代読）、全国酪農業協同組合連合会小谷常務理事、東北生乳販売農業協同組合連合会髙橋代表理事専務からそれぞれ祝辞をいただきました。

議長には豊里支部斎正志氏が選出され、提出議案の第１号議案から第７号議案まで全議案原案通り承認可決されました。

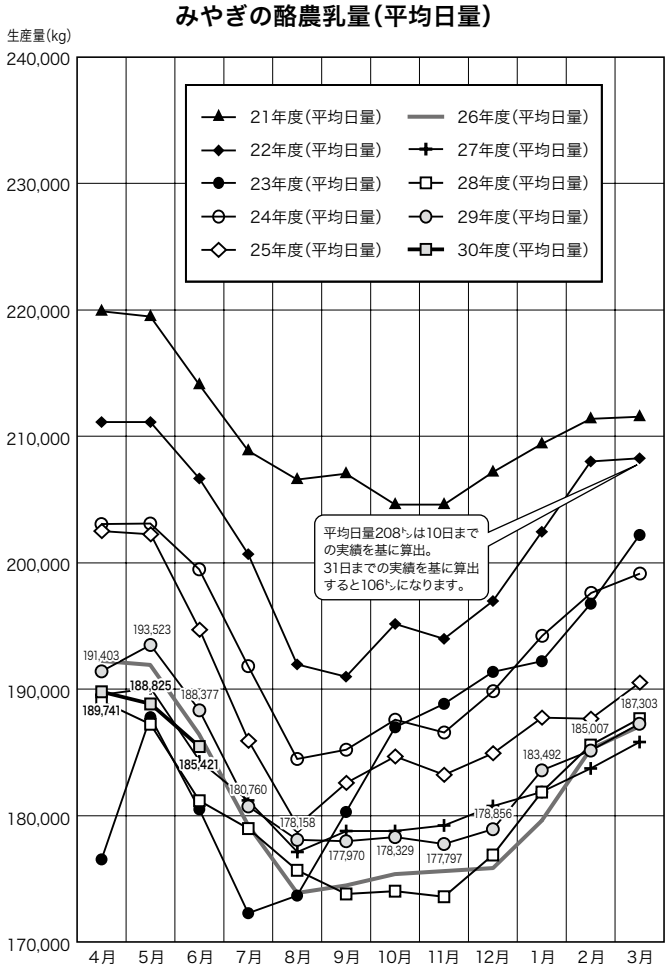
■開催日現在正組合員数及び出席正組合員数

開催日現在正組合員数		279名
出席正組合員数		272名
出席形態別内訳	本人出席	79名
	代理出席	6名
	書面出席	187名

平成30年度　生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量（平均日量）



平成30年度生乳生産実績（4月～6月 標準進度率24.93%）

（単位：kg、%）

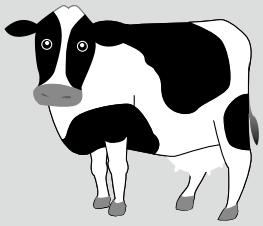
支部名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進度率
白石支部	22	1,690,530.2	1,652,185.2	102.32	6,564,964.0	25.75
七ヶ宿支部	6	642,295.8	617,658.6	103.99	2,480,947.0	25.89
蔵王支部	25	2,198,111.1	2,061,127.4	106.65	8,313,486.0	26.44
柴田支部	17	1,049,005.8	1,086,548.0	96.54	4,167,393.0	25.17
角田支部	7	546,030.0	581,314.0	93.93	2,200,642.0	24.81
丸森支部	13	818,283.1	851,986.0	96.04	3,215,480.0	25.45
仙台支部	12	986,590.2	987,797.2	99.88	3,753,861.0	26.28
名取支部	6	237,917.0	225,327.0	105.59	916,535.0	25.96
黒川支部	6	324,182.0	354,833.0	91.36	1,217,739.0	26.62
大崎支部	19	919,136.0	940,520.0	97.73	3,497,216.0	26.28
遠田支部	16	1,571,197.0	1,556,073.0	100.97	5,983,151.0	26.26
加美支部	19	706,650.0	747,188.0	94.57	2,677,853.0	26.39
鳴子支部	13	559,880.0	557,481.0	100.43	2,191,421.0	25.55
一迫支部	12	822,045.0	803,722.0	102.28	3,066,957.0	26.80
築館支部	14	500,634.0	577,805.0	86.64	2,137,794.0	23.42
瀬峰支部	7	301,828.0	331,546.0	91.04	1,276,473.0	23.65
迫支部	13	1,099,398.0	1,187,152.0	92.61	4,457,248.0	24.67
中田支部	8	410,751.0	397,518.0	103.33	1,598,876.0	25.69
東和支部	7	310,884.0	337,280.0	92.17	1,217,732.0	25.53
志津川支部	9	347,544.0	356,398.0	97.52	1,428,906.0	24.32
本吉支部	9	222,468.0	284,033.0	78.32	904,453.0	24.60
石巻支部	6	259,094.0	279,253.0	92.78	1,079,426.0	24.00
豊里支部	12	583,992.0	617,855.0	94.52	2,398,447.0	24.35
みやぎの酪農	278	17,108,446.2	17,392,600.4	98.37	66,747,000.0	25.63

※出荷戸数については、直近の数字です。

平成30年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

指導課

乳用牛の部



- 日　　時　平成30年9月25日（火）8：30～14：30
- 場　　所　みやぎ総合家畜市場（美里町）
- 出品頭数　98頭

今年の共進会は平日の開催になります。多くのご来場をお待ちしています。

輸入粗飼料情勢

購買課

配合飼料、哺育用代用乳

平成30年度第２四半期の配合飼料価格は主原料のトウモロコシ、大豆について南米の旱魃傾向による生産量の減少が懸念され相場は上昇しました。その後、天候は回復しております。糟糖類のグルテンフィードの輸入量減少やふすまの引き合いが強い状況です。為替相場については、米国の金利利上げや米朝首脳会談などの影響から前期と比較して円安になっております。海上運賃については、中国の石炭需要や南米の穀物需要が好調で、原油価格も堅調に推移しております。

一方、哺育用代用乳については、原料主要産地の生産量はピークを過ぎており価格は堅調に推移しておりますが、ホエーパウダーはチーズの生産が順調なことから価格は軟調に推移しております。

以上のことから第２四半期の配合飼料は1,500円/トン値上げ、哺育代用乳は据置となりました。

なお、第１四半期の配合飼料につきまして、通常価格差補てん金が発動される見込みです。

輸入粗飼料

❶アルファルファ

(A)ワシントン産

生育期に天候に恵まれましたが、後半は冷涼な気候になり、収穫期に降雨があり刈り取りを遅らせた圃場が多く、成分が低い物の発生が多く上級品は３～４割と推測されます。

(B)オレゴン産

クラマスＦは３割が雨当り、３割が軽微な雨当り４割が良品と推測されております。

クリスマス産は６月上旬、下旬に降雨があり良品についてはクラマスＦ同様に引き合いが強くなっており価格も上昇傾向にあります。

❷チモシー

(A)ＵＳ産

コロンビアベースンでは約８割が刈り取りを終了しております。約半分が降雨の被害を受けております。

エレンスバーグ地域の刈り取りは終盤ですが、こちらも３～４割が降雨被害を受けており、酪農用上級品は発生量が限定されることから価格は堅調に推移すると予想されます。一方で低級品の発生量が増えることから価格は軟化すると予想されます。

(B)カナダ産

クレモナ地区では５～６月にかけ降雨量が例年の半分程度で生育が遅れ気味の模様です。収穫は７月中旬頃から開始される予定です。

レスブリッジ地区では春先の冷涼な気候から生育は遅れ気味です。７月上旬より本格的な刈り取りが開始されます。昨年の国内外からの需要が安定的であることから作付面積は昨年より約１割増えている模様です。

❸豪州産オーツヘイ

全域において、播種時期後５～６月にかけて降雨が無かったことから生育が不十分となったことから17年産の余剰在庫が放出され低級品を中心に国内需要が増え相場は急激に上昇しました。

その後、西豪州では降雨があり生育は回復傾向にありますが、東豪州の生育状態はまだ回復していないことから今後の降雨量を注視していく必要があります。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、ご理解いただき引き続きご利用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

牛群検定～活用事例紹介～

指導課

暑熱期におけるプロバイオティクス給与が乳生産に及ぼす影響

宮城県牛群検定普及推進協議会では昨年度，特に暑熱期の体細胞低減を目標に県内３戸の検定農家，飼料添加物メーカー（アサヒカルピスウェルネス株式会社）の協力をいただき，枯草菌給与が乳生産性に与える影響を牛群検定成績を活用し検討を行いましたので紹介します。皆様の牛群の管理にお役立て下さい。

●試験の概要

【背景】

酪農における暑熱の影響は，温暖化により東北地方にも及んでおり，乳房炎発症等による体細胞数増加事例が増えています。牛の乳房炎は発症しやすく，かつ治療が困難な疾病であり，発症した牛は泌乳量や乳質が低下します。経済的損失も甚大であり，早急な対策が必要です。

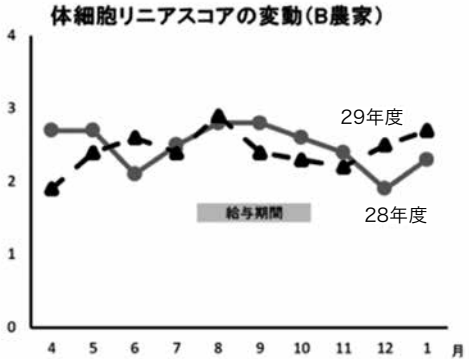
これまで，宮城県牛群検定普及推進協議会の構成員である宮城県畜産試験場等のグループは研究段階において枯草菌飼料添加物給与が乳中体細胞数低減効果を有すること，給与により分娩後および泌乳期の栄養状態･健康状態が良好であったことを報告しています。そこで，本検討では，特にストレスの多い暑熱期においてプロバイオティクスの枯草菌（Bacillus subtilis）給与が，乳中体細胞数低減や牛の栄養状態に与える影響を農家レベルで実証･検討しました。

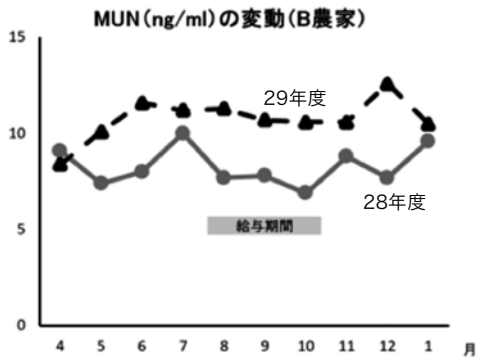
【方法】

宮城県内で標準的な規模（搾乳頭数40頭前後）の農家３戸を選定しました。乳量，乳脂率，乳蛋白質率および体細胞数等の牛乳生産成績については，各戸の牛群検定データを利用し，検討しました。枯草菌（6×10^{9}個/頭/日）の給与は，搾乳牛全頭とし，２戸については，暑熱期に当たる平成29年７月の検定日～ 10月の検定日まで３ヶ月間，１戸については，暑熱期は通常どおり飼養管理し，非暑熱期間平成29年10月の検定日～平成30年１月の検定日まで，各３ヶ月間給与しました。平成28年度成績をそれぞれの対照としました。

【結果】

体細胞数は，給与した３戸のうち２戸で低減が認められました。また，体細胞数の低減に影響が認められない農家でも，乳中尿素窒素（MUN）値やP/F比等の結果から栄養状態に良い影響を与えていることが推測されました。これらのことから枯草菌飼料添加物の給与では，暑熱ストレスによる体細胞増加の要因を抑制することで乳質改善及び生産性向上につながる可能性があることがわかりました。さらに，乳成分等の推移から乳牛の栄養状態を良好に維持することも示唆されました。





〔用語〕

MUN：
給与飼料のエネルギーとタンパク質のバランスを表す

体細胞（SCC）リニアスコア：
SCC を正しく評価するため数値変換した値

P（乳タンパク質）/F（乳脂肪）比:
間接的にルーメン発酵の状態を推測できる

〔文：宮城県牛群検定普及推進協議会作業部会:仙台農業改良普及センター　佐藤〕

牛群検定には６ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

・宮城県ホルスタイン協会	〔（一社）宮城県畜産協会内〕	TEL：022-298-9750
・県南乳用牛群改良組合	〔（一社）宮城県畜産協会仙南事業所内〕	TEL：0224-52-2523
・県北乳用牛群改良組合	〔（一社）宮城県畜産協会中央事業所内〕	TEL：0229-34-3304

北海道　乳牛産地情報・全酪連

指導課

平成30年７月１日現在

事務所	畜　種	相　場（万円）	価格状況
札幌管内	育成牛（10-12月令）	50～60	横ばい
	初妊牛	78～88	やや弱含み
	経産牛	45～50	横ばい
釧路管内	育成牛（10-12月令）	60～70	横ばい
	初妊牛	85～95	横ばい
	経産牛	60～70	横ばい
帯広管内	育成牛（10-12月令）	55～65	横ばい
	初妊牛	85～95	横ばい
	経産牛	50～60	横ばい
道北管内	育成牛（10-12月令）	50～60	横ばい
	初妊牛	83～88	横ばい
	経産牛	50～60	横ばい
道内総括	育成牛（10-12月令）	55～65	横ばい
	初妊牛	85～95	横ばい
	経産牛	55～65	横ばい

７月の初妊牛動向といたしまして、９月～ 10月分娩腹中心で取引されます。例年、都府県では残暑となる９月の分娩腹の導入意欲は低くなることから、価格的に下げる展開となります。しかし、道内酪農家の生乳生産意欲は旺盛となっていることまた、道内外の規模拡大需要も重なり初妊牛価格については、大きな変動はないものと思われます。初妊牛の資源状況といたしましては、平成29年度の道内各地域における育成牛市場での出品頭数（合計）が前年対比106％と大きく上回っていることから、今後の初妊牛の資源としては、授精腹により多少異なるものの、全体的に増えてくるものと予想されます。

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。 庭先選畜購買のため、市場平均価格とは異なります。

牛乳の日ＰＲキャンペーン

宮城県牛乳普及協会

６月１日（金）ザ・モール仙台長町において、牛乳の日ＰＲキャンペーンを実施いたしました。

当日は、牛乳をより美味しく飲んでいただこうと、牛乳に黒糖ときなこを合わせた“黒糖きなこミルク”、レモン果汁とガムシロップを合わせた“さわやかレモンミルク”の２種類を準備し、多くの方に飲んでいただきました。

また、テレビでも報道され、今回のイベントを通して、多くの方に “６月１日は「牛乳の日」” “６月は「牛乳月間」” だということをＰＲすることができました。

これから夏に近づくにつれ気温が上がる中、熱中症対策としてぜひ牛乳を飲んでいただきたいと思います。

食楽まつり2018

宮城県牛乳普及協会

６月16日（土）、17日（日）、大崎市の鳴子峡レストハウスの特設会場においてご当地のグルメの祭典「おおさき食楽まつり2018」が開催され、２日間とも寒い中のイベントとなりましたが、多くの来場者で賑わいました。

当協会では“６月は牛乳月間”のＰＲのため出店し、大崎市岩出山にある、みちのくミルク株式会社さんと一緒に、来場いただいた約2000名のお客様に牛乳を試飲していただきました。

今後とも少しでも多くのイベントに参加し、消費者との交流を図るとともに、酪農乳業の理解醸成を行い、牛乳の消費拡大に繋がる普及活動を行ってまいります。

牛乳乳製品利用料理コンクール募集のお知らせ

宮城県牛乳普及協会

今年も牛乳乳製品を活用した家庭で手軽に作れる「牛乳乳製品オリジナルレシピ」を募集いたします。

牛乳は加熱しても栄養価がほとんど変わらないため、飲むだけではなく、食材として幅広いメニューに活用することができます。

また、昨年度に続き最優秀作品・優秀作品に選ばれた方は、11月10日（土）に開催される東北大会へ出場していただきます。皆様のご応募お待ちしております。

詳しい応募要項につきましてはＨＰまたは宮城県牛乳普及協会までお電話下さい。

贈賞内容

- **最優秀賞** … **1**名
  ＪＴＢ商品券３万円、乳製品詰合せ
- **優 秀 賞** … **1**名
  ＪＴＢ商品券２万円、乳製品詰合せ
- **優 良 賞** … **8**名
  ＪＴＢ商品券１万円、乳製品詰合せ

- 応 募 締 切／平成 30 年 **8** 月 **24** 日（金） **必着**
- 宮城県大会／平成 30 年 10 月 23 日（火）
  エル・パーク仙台
- ホームページ／ http://miyagi-milch.jp/
- フェイスブック／ https://www.facebook.com/milkcompetition.miyagi

みなさまのご応募お待ちしております！

お問い合わせ先
宮城県牛乳普及協会（担当 飯塚）
ＴＥＬ/**0229−34−2366**　MAIL/**milk_fukyuukyoukai@miyagi-milch.jp**

再確認！カビ毒の種類と対策について

今回、この時期の厄介ものである「カビ」について、特にその「カビ」が生み出す「カビ毒」に焦点を当て、カビ毒の種類や対策についてご紹介いたします。

カビ毒とは

「カビ毒」とは、カビから産出される毒素の総称を表し、別名「マイコトキシン」とも呼ばれています。「カビ」は微生物であるため人の目で確認でき、時として異臭を放つものでありますが、**「カビ毒」は化学物質であるため人の目で確認することはできず、また、無味無臭**です。この「カビ毒」は現在、全世界で約400種類以上もの存在が報告されています。カビ毒は乳牛の健康と生産性に悪影響を及ぼすだけでなく、一部は乳汁中にも移行することが知られています。安全な乳製品を生産するためにも十分なカビ毒対策をとることが重要です。

主なカビ毒の特徴と問題点

● アフラトキシン

地球上に存在するカビ毒の中で最も強力な経口発がん性物質です。原因菌のアスペルギルス・フラバスは東南アジア、ブラジルを始めとする熱帯・亜熱帯に広く分布し、ピーナッツ類から検出されることが多いです。しかし日本では、沖縄南西諸島の土壌中に若干分布している程度です。アフラトキシンに汚染された飼料を摂取した乳牛は、乳汁中にアフラトキシンM1として泌乳されると言われています。日本では飼料安全法に則り穀物輸入時に厳格な検査が行われているため、検出されることはほとんどなく、検出されたとしても微量（0.01ppm以下）で人畜に影響を与えない程度です。

● トリコテセン系カビ毒（デオキシニバレノール、T−2 トキシンなど）

家畜の粘膜に影響を与えるため、嘔吐・軟便・下痢・血便・鼻水をもたらします。フザリウム菌により産出され、日本を含む温暖寒冷地域の土壌に広く分布しています。自給飼料での検出率はデオキシニバレノール（DON）を中心に高く、特にコーンサイレージから検出されることが多いです。

● ゼアラレノン

外陰部肥大等の擬似エストロゲン様の症状を引き起こし、流産等各種の繁殖障害の原因となるため、畜産経営上問題となっています。フザリウム菌により産出され、日本を含む温暖寒冷地域の土壌に広く分布しています。自給飼料からの検出率は高く、特にグラスサイレージから検出されることが多いです。

カビ毒の対策

牛はルーメン（第1胃）である程度はカビ毒を無毒化できると言われています。しかし、ルーメンが未発達の子牛や、ルーメン通過速度の速い高泌乳牛は無毒化能力が低いため十分な注意が必要です。

そこで、カビ毒の影響を抑える有効な手段の一つにカビ毒対策製品の給与が挙げられます。カビ毒に有効な物質には以下のような種類があり、それぞれ特徴が異なります。

① 吸着物質（鉱物系、酵母細胞壁系）によるカビ毒の吸着　⇒ アフラトキシンに有効

② 酵素によるカビ毒の無毒化　⇒ トリコテセン類、ゼアラレノンに有効

※吸着・無毒化とも飼料の製造過程や保管中には作用せず、体内の消化管（ルーメン・胃・腸）での作用となります。

『カビ毒対策製品』をご使用になる場合は、日本のカビ毒発生状況に合った製品を選択することをお勧めします。

【カビ対策製品群と作用機序 】

各種カビ毒対策製品群	カビ毒対策製品の特性		作用機序	アフラトキシン	ゼアラレノン	デオキシニバレノール（トリコテセン類）
	粘土系（鉱物系）		吸着	◎	△／×	×
	酵母細胞壁系	酵母細胞壁のみ	吸着	×	△	×
	酵母細胞壁系	酵母細胞壁に粘土系を混合した製品	吸着	◎／○	△	×
	酵素複合体＋酵母細胞壁（例：全酪連、マイコまいっちゃう）		吸着＋無毒化	◎	◎／○	◎

※酵素複合体とはカビ毒を吸着する働きをする粘土系（鉱物系）とカビ毒を破壊する酵素２種が混合された製品です

食品の安全性において懸念材料となっているカビ毒

日本で発生するカビ毒（飼料、サイレージ）

最後までお付き合い頂きありがとうございました。
皆様の愛牛をカビ毒から守る一助となりましたら幸いです。

情報提供先・全酪連仙台支所

理事会通信

総務課

【第２回理事会】

開 催 日　平成30年５月18日

付議事項　第１号議案　平成29年度決算監査にかかる監事監査報告について
第２号議案　平成29年度決算書類の承認について
第３号議案　通常総会の招集について
第４号議案　定期賞与（６月期）の支給について
第５号議案　全国酪農業協同組合連合会に対する増資（増口）について

【第３回理事会】

開 催 日　平成30年６月27日

付議事項　第１号議案　平成29年度業務報告書の承認について
第２号議案　平成29年度連結業務報告書の承認について
第３号議案　平成30年度理事の報酬の配分について
第４号議案　退任理事に対する役員退職慰労金の支出について

第16回乳用牛ベビーショウ開催のお知らせ

指導課

日　時　8月20日（月）
場　所　みやぎ総合家畜市場（美里町）
時　間　午前10時～

多くのご来場をお待ちしております。

業務報告

総務課

5月2日	役員候補者推薦会議	本所
5月8日	平成29年度決算監査	本所
5月9日	平成29年度決算監査	本所
	栗原地域事務所管内畜産担当者会議	栗原市
5月10日	平成29年度決算監査	本所
5月11日	㈱みやぎの運送期末監査	美里町
	畜産高度化支援リース事業等推進全国会議	東京都
	七ヶ宿支部総会	白石市
5月14日	志津川支部総会	南三陸町
5月15日	柴田支部総会	村田町
5月17日	東北生販・乳業者打合せ	仙台市
5月18日	第2回理事会	本所
	㈱みやぎの運送取締役会	本所
	農業制度資金事務担当者会議	大崎市
5月21日	旧本吉出張所敷地分筆立会	気仙沼市
	迫支部総会	登米市
5月22日	宮城県総合畜産共進会出品委員会	美里町
	肉用子牛生産者補給金制度等業務推進会議	美里町
5月23日	東和支部総会	気仙沼市
	宮城県仙台家保管内畜産担当者会議	仙台市
	宮城県牛乳普及協会事務局会議	本所
5月24日	指導・購買担当者会議	本所
	生乳の安全・安心の確保のための東北地域協議会	仙台市
	大崎畜産振興協議会総会	大崎市
	中田支部総会	登米市
5月25日	本吉支部総会	気仙沼市
5月28日	宮城県酪農団体合理化検討会委員会	仙台市
5月29日	(一社)Ｊミルク理事会	東京都
5月30日	宮城県酪農団体合理化検討会	仙台市
	東北生販県牛乳普及協会・支所担当者合同会議	仙台市
	東北生販支所実務者会議	仙台市
	宮城県牛群検定普及推進協議会作業部会	仙台市
5月31日	第2回支部長会議	本所
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	東京都
	自由民主党東北酪政会総会	東京都
6月1日	牛乳の日ＰＲキャンペーン	仙台市
	全酪連役員選考委員打合せ	仙台市
	(一社)全国酪農協会役員会	東京都
6月4日	婦人部本吉支部総会	登米市
6月7日	東北酪農青年女性会議役員会	仙台市
6月8日	宮城県牛乳普及協会監査会	本所
	東北酪農専門団体協議会総会・研修会	仙台市
6月11日	東電損害賠償対策宮城県協議会第59回総会	仙台市
	(一社)宮城県畜産協会理事会	仙台市
6月12日	地区説明会	村田町
6月13日	地区説明会	本所
	宮城県牛乳協会総会	仙台市
6月14日	地区説明会	登米市
	青年部栗原支部総会	栗原市

業務報告

総務課

6月15日	(一社)Ｊミルク総会	東京都
6月16日	食楽まつり2018　～17日	大崎市
6月18日	宮城県農業信用基金協会総会	仙台市
6月19日	婦人部本吉支部交流会	岩手県
	婦人部栗原支部総会	栗原市
	(一社)酪農ヘルパー全国協会定時会員総会	東京都
6月20日	角田市酪連役員会	角田市
	遠田支部役員会	本所
	東北生販業務打合せ	仙台市
	(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金総会	東京都
6月21日	宮城県酪農団体合理化検討会･乳業者打合せ	大崎市
	東北酪農生産研究会総会　～22日	仙台市
	宮城県牛乳普及協会理事会　～22日	仙台市
6月22日	婦人部登米支部総会	松島町
	宮城県酪農団体合理化検討会専門部会	本所
6月23日	宮城県ブラックアンドホワイトショウ	美里町
6月25日	28年度機械導入事業成果報告書作成巡回説明	大崎市
	(一社)中央酪農会議会員総会･理事会	東京都
	(公社)みやぎ農業振興公社総会	仙台市
6月26日	(一社)全国酪農協会総会･役員会	東京都
	遠田地区安全運転管理者事業主会総会	美里町
6月27日	安全運転管理者講習会	美里町
	第69回通常総会	大和町
	第３回理事会	大和町
	第２回監事会	大和町
6月28日	(一社)宮城県畜産協会総会	仙台市
	(農)モーランド総会	気仙沼市
	ＤＭＳ相談会	本所
	東北生販事業推進委員会	仙台市
	㈱みやぎの運送株主総会　～29日	大崎市
6月29日	ＪＡみやぎ中央会総会	仙台市
	酪農教育ファーム東北地域推進委員支所担当者合同会議	仙台市
	乳用後継牛緊急確保事業推進会議	東京都
	㈱本吉町産業振興公社総会	気仙沼市
6月30日	加美郡総合畜産共進会	加美町

[編集後記]

この度の西日本豪雨により、被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方とご遺族の皆さんにご冥福をお祈りします。

いつ発生するか分からない自然災害に対し、避難場所や避難経路をもう一度確認し、持病のある方はお薬等いつでも持ち出せるよう準備をしておきましょう。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)